

710年の遷都と都のようす

学習日 月 日

点

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

710年、律令国家の新しい都として、奈良盆地の北部に新しい都がつけられた。
この都は中国の都を手本とし、道路によって碁盤の目のように区画されていた。
都の北側には、天皇の住まいや役所が置かれた場所（ A ）があり、そこから南へ
向かって、はば70メートルをこえる大通り（ B ）がのびていた。

① 710年につくられたこの都を何というか。

（ ）

② この都は、中国の何という王朝の、何という都を手本としてつくられたか。

王朝（ ）都（ ）

③ A、Bにあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

A（ ） B（ ）

④ この都が置かれたのは、現在の何県か。（ ）

⑤ この都に都が置かれていたのは京都に都が移されるまでは、およそ何年間か。次から
1つ選びなさい。

ア 約40年間 イ 約80年間 ウ 約150年間 （ ）

2 右の図は、この時代につくられた貨幣である。

これを見て、次の各問いに答えなさい。

① 右の図の貨幣の名前を、漢字4字で書きなさい。

（ ）



② 都の東西に設けられ、各地から運ばれた産物が売買された場所を何というか。

（ ）

③ この時代について述べた文として誤っているものを、次から1つ選びなさい。

ア 710年、律令国家の新しい都が、奈良盆地の北部に置かれた。

イ 710年から794年に都が京都に移されるまでを、奈良時代という。

ウ 都は、中国の都を手本として建設された。

エ 都では市が開かれ、品物の取り引きに稲や布は使われなくなった。

（ ）

④ ①の貨幣は、都とその周辺以外ではあまり使われなかった。その理由を、「稲や布」と
いう語句を使って簡潔に書きなさい。

（ ）

解答

1

① 平城京 ② 王朝 唐 都 長安

③ A 平城宮 B 朱雀大路 ④ 奈良県 ⑤ イ

2

① 和同開珎 ② 市 ③ エ

④ 地方では、稲や布などの品物と品物を直接交換する取り引きが行われていたから。